

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回図書館運営協議会
開催日時	令和5年2月13日(月) 午前10時～午前11時50分
開催場所	戸田市立中央図書館2階 視聴覚室
委員長等氏名	会長 石川 敬史
出席者氏名 (委員)	会長 石川 敬史 委員 小代 元志 委員 田口 香代子 委員 増渕 洋一郎 委員 大久保 絹子
欠席者氏名(委員)	副会長 小林 真喜子 委員 星野 正義
説明のため出席した者	無
傍聴者	無
事務局	生涯学習課 課課長 高屋 勝利 主幹 本橋 洋 副主幹 宮嶋 朗子 主任 水沼 博之 司書 宮澤 ゆかり
指定管理者	中央図書館長 後藤 有功 上戸田分館長 丸山 怜依

議 題	(1) 第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について (2) 令和4年度図書館下半期事業報告 (3) 令和5年度図書館事業計画について (4) その他
会議結果	生涯学習課図書館担当・戸田市立中央図書館及び上戸田分館指定管理者から議題の内容について報告があり、報告事項に対して図書館運営協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別添のとおり
会議資料	(1) 令和4年度第2回戸田市立図書館運営協議会次第 (2) 戸田市立図書館運営協議会委員名簿 (3) 戸田市立図書館運営協議会事務局名簿・指定管理者出席者名簿 (4) 第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況 (5) 令和4年度下半期図書館事業報告 (6) 令和5年度図書館事業計画 その他 (7) 第2次戸田市図書館ビジョン (8) 第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について
議事録確定	令和5年2月17日 会長氏名 <u>石川 敬史</u>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>開会</p> <p>定刻となったので、令和4年度第2回図書館運営協議会を開催する。この協議会は、戸田市立図書館の円滑な運営を図るため、戸田市立図書館条例により設置するものである。</p> <p>本日の会議は、小林副会長と星野委員が欠席であるが、会議は成立要件となる過半数の出席を満たしている。</p> <p>次第2の議事に入る。</p> <p>議事の進行については、戸田市立図書館条例施行規則第25条第2項の規定により、会長が務めることとなっているので、石川会長にお願いする。</p>
会長	<p>それでは、これから議事に入るが、本日は傍聴人がいないことを報告する。</p> <p>議事(1)第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第2次戸田市図書館ビジョンは令和4年3月に策定された。資料7「第2次戸田市図書館ビジョン」にあるように、図書館の目指す姿を「すべての市民の学びを支援し、情報拠点となる図書館」とし、これを実現するための4つの方針と、それぞれの方針について主な施策を挙げている。</p> <p>計画期間は令和4年度から令和10年度の7年間で、令和4年度は1年目となる。</p> <p>資料4「第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況」には、各方針の主</p>

<p>中央図書館長</p>	<p>な施策について、令和4年度中の実績と令和5年度の予定を記載している。どの施策についても、図書館の持つ物的資源、人的資源を生かし、また、地域の学校や団体と連携して、図書館サービスの向上を図っている。</p> <p>今日はこの後、令和4年度に行った新たな取り組みや、令和5年度の新たな取り組み予定のうち、主なものについて説明する。</p> <p>ここからは、資料8「第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について」に沿って主に中央図書館長に説明してもらう。</p> <p>第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について、令和4年度に行った新たな取り組みや、令和5年度の新たな取り組み予定のうち、主なものについて説明する。</p> <p>資料8「第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況について」に沿って説明する。</p> <p>1 電子図書館の拡充について</p> <p>電子図書館サービスは令和3年1月より開始し、スタート時には利用者の関心も高く、また、新型コロナ感染症拡大の時期とも重なり、順調な貸出冊数だったが、告知不足とコンテンツのマンネリ化により、徐々に利用が減少していった。</p> <p>打開策として、夏休みに小中学校の保護者宛て配信メールで、デジタルアーカイブと電子図書館に関するチラシを配布し、児童・生徒に配布しているタブレット端末のwebブラウザに、デジタルアーカイブと電子図書館のブックマークを追加してもらった。</p> <p>また、コンテンツに児童書の読み放題パックを追加したり、毎月の新刊をホームページやSNSで告知したりした。</p> <p>結果、夏以降、貸出冊数を増やすことができた。</p> <p>すべての市民の学びを支援する図書館においては、来館せずとも</p>
---------------	--

利用できる電子図書館は重要なツールの一つである。今後も、更なる認知拡大、コンテンツの充実に取り組んでいく。

2 戸田市デジタルアーカイブ

令和4年7月にオープンした。デジタルアーカイブとは、文書や文化資源などを電子データ化し、それをデータベースとして提供するもので、来館しなくても文書や文化資源などを閲覧することができる。

戸田市のデジタルアーカイブは、JAPAN SEARCHと連携しているプラットフォームシステム(ADEAC)を利用しているため、多くの方が戸田市の文書や文化資料にアクセスできる。

コンテンツは、郷土博物館が発行している「史ある記マップ」と図書館が発行している「パスファインダー」から構成されている。

「史ある記マップ」は、5つの観光コースを紹介して、市内の文化財を紹介している。概要説明からパスファインダー(調べ方ガイド)へ展開するリンクも貼ってある。

パスファインダーは、調べるテーマについて、調査資料の紹介や調べ方の手引きをまとめたものである。一般向け48件、児童向け19件のパスファインダーを公開している。

戸田市について知りたい、調べたいと思った人にwebを通じて情報提供及び調査のサポートができる。夏休みにも地域のことを調べたい児童の保護者から問い合わせがあった。

また、ADEACのプラットフォームを通して多くの方が戸田市に関心を持つきっかけにもなるので、戸田市のPRにも貢献できる。

3 戸田市立図書館を使った調べる学習コンクール

今年度よりスタートした取り組みで、調べる学習を体験して、応募作品を作成するというものである。自らの「知りたい」について、疑問を解決するために情報を収集し、情報を取捨選択しながらまと

める。そして、相手に伝えるための資料を作り上げる。つまり情報リテラシーを行うことを体験してもらうものである。学習指導要領にもあるとおり、これからの子供たちは、変化の激しい現代社会を生き抜くための力を養成する必要がある。その能力を育成する一助になるのではないかと開催した。

全国では26回の開催実績のあるコンクールである。戸田市では今年度から開催した。各学校の先生を通じて児童に告知し、夏休みには調べ方に役立つ情報を伝えるための講座を開催した。

応募は16作品あり、審査して8作品を表彰した。

最優秀作品には、戸田第一小学校の児童が選ばれた。「私が知りたい！花火のなぜ？」というテーマで、花火についての様々な疑問に対して調べたことをまとめあげた作品である。

この作品は、戸田市を代表して全国コンクールに応募し、奨励賞を受賞した。この児童は、昨年も個人で全国コンクールに応募し、「郵便ポストはなぜ赤い？」というテーマで優秀賞を受賞している。

次回以降も継続して取り組みたい。

4 戸田市まちづくり出前講座

小学生向けのブックトークでは、授業のテーマに沿った本を紹介した。「NDCを使いこなそう」は戸田第二小学校4年生からの依頼を受け、図書館で本を探す方法をクイズ形式で紹介した。「図書館ってどんなところ？」は、図書館へ来館してもらい、図書館見学と、利用方法を学んでもらった。

学校の本好きサポーターさんに向けて、本の修理などの研修も実施した。

喜沢中学校からもブックトークの依頼があった。昨今は戸田市以外からの転入者が増加し、戸田市のことを知らないで育った生徒が多いことから、「戸田市の活性化につながることを考えよう」という

上戸田分館長	<p>課題に取り組むにあたり、戸田市について知るための資料について紹介してほしいという依頼だった。</p> <p>先生方の悩みを解決すべく、戸田市の特徴や魅力を紹介しつつ、調べるための本を紹介した。</p> <p>図書館に隣接する施設に不登校支援教室「いっぽ」が開設されたため、連携事業の一環としてブックトークを開催した。事情を抱えた生徒さんでも講座を楽しめるよう、図書館の資料を使って興味のあるテーマを自由に調べる体験をしてもらった。ゲームについて調べたり、ペットについて調べたり、各自、好きなテーマで調べていた。</p> <p>このように様々な形態で出前講座を実施した。次年度も継続していきたい。</p> <p>5 学校との連携</p> <p>団体貸出</p> <p>学校の図書担当の先生方と連携して運用している。昨年度より利用も伸びているので、今後も連携を継続していく。</p> <p>表現の場の提供</p> <p>図書館に隣接している埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校には、図書館玄関ホールを活用して、季節の飾りつけや授業で作ったパンの販売をしてもらった。</p> <p>学習成果発表の場の提供</p> <p>上戸田分館では、戸田第一小学校における地域の課題を解決する授業で、子供たちが考えた課題の成果を発表する場を提供している。</p> <p>例えば、小学校5年生の児童は、プラスチックごみ削減のため古着で作ったエコバックを30枚配布した。</p> <p>小学校3年生の児童は、地域を笑顔にするというテーマで本の紹介をし、コルクボードにPOPを貼ったり、折り紙で飾りつけをし</p>
--------	---

<p>中央図書館長</p>	<p>たりしたものを展示した。</p> <p>今後も地域の子供たちの活動支援をしていきたい。</p> <p>6 軽食販売とキッチンカー</p> <p>利用者からの要望で、昨年度は障害者福祉サービス事業所ゆうゆうの軽食販売を開始したが、今年度は、更に、埼玉県立かけはし高等特別支援学校の生徒が調理したパンの販売、商店会からの紹介でキッチンカー2店、あげパンと卵サンドの販売を開始した。</p> <p>現在は、あげパン目的の問合せがあるなど、図書館の利用者だけでなく、近隣の住民からも好評である。</p> <p>7 各種サービス</p> <p>バリアフリーサービス</p> <p>中央図書館にある大活字本の棚を使って、バリアフリーコーナーを設置した。大活字本の他にLLブックや点字図書なども1つのコーナーに集めた。また、郵送貸出や対面朗読などのサービスも市広報を通じて周知し、同時に、1階の入り口付近にブックトラックを使った展示コーナーを作った。今後も多くの利用があるよう認知度を広めるための取り組みをしていく。</p> <p>日本語を母国語としない人へのサービス</p> <p>以前より各国語の利用案内を設置していたが、更にポケトークの配置し、会話でも対応できるようにした。また、在住外国人に来館してもらうために TIFA(戸田市国際交流協会)に依頼してSNSで図書館サービスを告知してもらった。</p>
<p>上戸田分館長</p>	<p>上戸田分館では、館内に新たに多文化コーナーを開設し、外国語の絵本、中央図書館から移管した洋書、新たに購入した日本語学習資料を設置した。日本語学習資料は、初心者向けの利用が多い。</p> <p>また、TIFAの協力で、英語、韓国語、中国語、ベトナム語の利用案内を作成した。利用者の中でまったく日本語が通じない人はいな</p>

<p>中央図書館長</p>	<p>いが、母国語の利用案内の方が良いということで持ち帰る人もいる。</p> <p>8 館内外の整備</p> <p>昨今の図書館には、居心地の良い施設であることが求められている。当館でも居心地の良い時間と空間を提供するために、玄関ホールにソファを設置し、市が提供する無料の Wi-Fi を整備した。華やかな雰囲気を出すためにデジタルサイネージも設置し、頻繁にメッセージを変えて図書館サービスの周知を行っている。デジタルサイネージについては、緊急時にインターネットとつないで災害情報なども提供できるようにしている。</p> <p>また、図書館前のベンチスペースでは、キッチンカーで買ったものを食べたり、休憩したりする人のために、鉢植えの花を置くなどして環境美化に取り組んでいる。</p> <p>令和5年度の新たな取組みについて</p> <p>1 図書館開館40周年イベント</p> <p>11月3日から5日までイベントを開催予定である。第2次図書館ビジョンに即し、地域住民、ボランティア、地域の企業と協働で、あらゆる年代の人が楽しめるようなイベントを開催したいと検討、企画中である。</p> <p>ほかにも、40周年に向けて、3月より毎月、玄関ホールで本の原画展を開催する。また、地元の小学生やサークルなどの作品展示も企画している。</p>
<p>事務局</p>	<p>2 図書館システム更新</p> <p>令和5年度中に現在のシステムがリース満了となるため、令和6年2月に新たな図書館システムを導入する。大規模な作業が必要となるため、2月13日から29日まで全館休館となる。</p> <p>新たなシステムでは、4つの機能の追加を予定している。</p>

<p>中央図書館長</p>	<p>1 つめはマイナンバーカードの利用で、マイナンバーカードが図書館の貸出券として使えるようになる。</p> <p>また、マイナンバーカードを登録することで、マイナンバーカードの更新情報を活用し、氏名や住所などの情報の変更の有無を把握することができる。</p> <p>図書館では貸出券に有効期限を設け、有効期限を更新する際には、利用者に本人確認書類を提示してもらい、登録内容の変更の有無を確認しているが、マイナンバーカードの活用により、登録内容の変更が無い方については有効期限の自動更新が可能となる。</p> <p>2 つめはオンライン申請で、来館しなくてもパソコンやスマートフォンからオンラインで手続きができるようになる。特に、図書館に所蔵が無い本のリクエストについては、現在、紙のリクエストカードによる受付のみとなっているため、利用者からのオンライン対応の要望が多かったものである。</p> <p>3 つめは貸出券のスマホ表示機能で、導入するシステムにより方法は異なるが、図書館ホームページの利用者のページなどから貸出券のバーコードをスマートフォンの画面に表示できるようになる。</p> <p>4 つめは読書記録機能で、自身の読書記録を確認したいという要望が多いことから、本人の同意のうえで、貸出履歴を保存し、図書館ホームページにログインして確認できるようにする。</p> <p>パソコンやスマートフォンからでも確認でき、また、これも導入するシステムによって異なるが、年間の読書冊数がグラフで見られたり、感想をメモすることができたりと、読書意欲を高める機能がある。</p> <p>3 分室のよみきかせ会の開催</p> <p>美笹での読み聞かせを実施する。</p> <p>美笹公民館祭りで実施したところ好評だったため令和5年度も定</p>
---------------	---

	<p>期的に実施することになった。美笹公民館では、子育て支援で子供が集う場所があるので、そこを利用して実施する。これを機に今後とも公民館と連携していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>第2次戸田市図書館ビジョン進捗状況と今後の取り組みについて事務局と指定管理者から報告があったが、これについて意見、質問等あれば願います。</p>
<p>委員</p>	<p>以前、図書館前のベンチの所に池があったが、今後、水を入れる予定はないのか。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>管理の関係で、水を入れられないと担当者から聞いている。</p>
<p>委員</p>	<p>調べるコンクールは、どれくらいの学校が参加したのか。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>全学校に、直接、説明に行き、案内した。</p>
<p>委員</p>	<p>戸田市では小中学校でプレゼン大会を開催している。プレゼン大会は小学5年くらいから実施しているが、今回のような取り組みが広がり、プレゼン大会に参加する前の児童が調べる技術を身に付けてくれば、プレゼン大会もレベルアップするため、今後も学校と連携して実施してもらいたい。これは価値ある取り組みになると感じた。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>講座の講師に迎えた先生が、戸田市の児童はレベルが高いとお褒めを頂いた。プレゼン大会を開催するなど、素地のある環境があるからかもしれない。ご意見を意識しながら今後も継続していく。</p>
<p>会長</p>	<p>軽食とキッチンカーの利用状況を知りたい。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>売上げ金額についての報告はないが、キッチンカーの方に聞いたところ、他の場所と比較しても平日としては良く売れる場所だということである。こちらで見えても行列ができている時間もあり、近隣の住民や図書館の利用者に利用されている様子である。</p>
<p>会長</p>	<p>次年度の図書館システム更新について、既に仕様書の策定は済ん</p>

<p>事務局</p>	<p>でいるのか。更に事業者も選定済みという状況なのか。</p> <p>現在、仕様書の策定が済んで、事業者を選定中という状況である。まだ、確定はしていない。</p>
<p>会長</p>	<p>予算は獲得しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この先、5年分まで債務負担行為をしている。</p>
<p>会長</p>	<p>読書記録機能については、個人情報外部へ流出しないような対策がとられているかを慎重に検討してほしい。また、他自治体の図書館では読書手帳を導入している所も多い。人気のあるサービスなので、戸田市でも読書記録とともに、ネットからだけでなくアナログでのサービスも検討してはどうか。</p> <p>マイナンバーカードの利用には抵抗がある利用者もいると思う。導入には一長一短があると思うので慎重に検討して欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>読書記録機能について、読書記録の扱いは慎重に行っている。記録は本人だけが確認でき、図書館スタッフも確認はできないようになっている。情報の流出には配慮したシステム設計になっていることは、選定業者各社、確認済である。</p> <p>通帳タイプの読書記録機能については、今回のシステム更新にあたり導入の検討をしたが、分室に専用の機器を置くスペースがなく、市内全域で同様のサービスが提供できないのであれば導入すべきでないと判断し、見送った。現在は、戸田市内小中学校の児童、生徒にタブレットが貸与され、web上の読書記録機能を使用できる環境にある。手元でいつでも確認できるという利点もあるため、web上の読書記録機能の導入を決めた。</p> <p>マイナンバーカードについて、他のシステムと連携することに抵抗がある人もいるというのは把握している。今回、導入する機能は、マイナンバーカードの個人番号や情報を利用するのではなく、マイキープラットフォームから配布される番号に図書館の貸出券番号を</p>

<p>会長</p>	<p>結びつけて利用するもので、図書館システムを通じて、マイナンバーカードの内容等個人情報が流出する可能性はない。この連携で図書館側が把握できるのは、カードの情報が更新されたか否かという情報のみで、更新により住所が変更されたか等の詳細な情報はわからない。</p> <p>図書館システムの更新は、図書館にとってかなり負担となる大変な作業である。システム会社のいいなりになるのではなく、図書館がイニシアティブを取って進めてほしい。</p> <p>他にご意見、質問等なければ、次の議事（２）令和４年度図書館下半期事業報告について説明をお願いします。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>ここからは資料５「令和４年度図書館下半期事業報告」に沿って報告する。１ページの施設利用状況で、来館者数は伸びているが貸出冊数は前年度と比較すると減少している。読書においては、電子書籍も普及しているため、冊子の貸出件数が伸びないという事情もあるが、今後は図書館サービスのアピールをして来館者を増やし貸出に繋げていきたい。同時に、電子図書館の活性化も進めていきたい。</p> <p>３ページ、電子図書館のログイン数、利用者数は減っているが貸出冊数は伸びている。</p> <p>事業の実施状況は、図書館ビジョンの進捗状況でも説明したので、補足として、４ページの託児サービスについて説明する。託児サービスについては多くの人に利用してもらっている。託児付き講座も昨年度より多くの利用があり好評である。</p> <p>５ページの工作会、ぬいぐるみおとまり会は新規事業として実施した。普段、図書館とは縁のない子供にも興味をもってもらおうと開催した。</p> <p>大人向けの講座では、おはなしボランティア養成講座を開催した。</p>

<p>上戸田分館長</p>	<p>ボランティアだけでなく、市民大学認定講座とし、広く市民に門戸を開放して実施したところ、受講者の中から2名、新規のボランティアの応募があった。ボランティアの活性化にも繋がり、また、外部でおはなし会をしている方のスキルアップにもなったと好評だった。</p> <p>古典講座の講師には、図書館に隣接する県立戸田翔陽高等学校の国語の先生に依頼した。興味深い内容の講座をしてもらったので、来年度も依頼したいと考えている。</p> <p>7ページ、ボランティアとの協働については、資料のとおりだが、補足として、来年度の40周年記念行事の中で、ボランティアによる人形劇の実演の計画がある。人形劇については、スペシャルおはなし会でも実演の実績があり、子供たちに好評なので、ぜひ、記念行事の中でも実演してほしいと依頼した。他にも様々な企画を提案してもらっている。このように、おはなしボランティアとの連携は強めていっている。</p> <p>音訳ボランティアについては、40周年記念イベントとして、マルチメディアデイジーの体験会を実施する予定だが、その中で、音訳ボランティアが行っている活動についても紹介したいと考えている。特に、対面朗読については、まだ、利用実績がないのでアピールしたい。</p> <p>11ページの施設利用状況では、中央図書館同様、前年度に比べて来館者数は増加しているが、貸出点数はやや減少している。</p> <p>グループ学習席については、夏頃から運用方針を変えたため親子での利用が増えた。また、利用人数も規制緩和したため、徐々に利用者が増えた。</p> <p>事業の実施状況では、13ページの「おはなしのバスケット」を新規事業として実施した。上戸田分館は上戸田地域交流センターと</p>
---------------	---

	<p>の複合施設であるため、図書館の中だけでなく、センターのスペースを使ったおはなし会や、センター事業内でのおはなし会にも協力している。その一環として、センターのキッズスペース内で過ごす親子に、希望すれば個別におはなし会を実施するという取り組みを始めた。</p> <p>14ページ、「○△□のひみつ」という新規の講座は、小学生向けの法教育をテーマとした講座で、行政書士の先生を講師に招いて実施した。今年度は3月にも同じ先生を招いて、メディアリテラシーに関する話をしてもらう予定である。</p> <p>15ページ、ボランティアとの協働、団体支援では、今年度、戸田第一幼稚園の先生に向けた絵本の読み聞かせ講座を実施した。今後も依頼があれば実施していく。</p>
<p>会長</p>	<p>今年度の下半期の事業報告について説明をしてもらったが、ここまでで意見、質問等あったら願います。</p> <p>では、私からの質問を一つ。新規事業において、学校や幼稚園からの申込みがあるという報告があったが、各機関への声掛けはどのように行っているか知りたい。図書館の方からチラシを配ったりしてアプローチしているのか。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>市民大学講座や出前講座については、市が実施している取り組みであるため、市の方で配布物やホームページ、SNSなどで告知を行っている。学校については、団体貸出の説明会などでも案内している。</p>
<p>上戸田分館長</p>	<p>上戸田分館では、近くにある戸田第一小学校の先生方とは授業の作品展示を通して繋がりがあり、日頃からやりとりをしているため上戸田地域交流センターを地域の窓口として認識してもらっている。特に声掛けをしなくても、日々のやりとりの中でイベントの案内はできる。</p>

<p>会長 委員</p>	<p>幼稚園の先生方にも、近くの図書館として日頃から利用してもらっているの、それが依頼に繋がったと考えている。</p> <p>今後も図書館外の様々な機関との繋がりを持ち続けてほしい。</p> <p>4ページの託児サービスについて、どのような人に託児を依頼しているのか知りたい。また、預かる子供の年齢はどのような内訳になっているか知りたい。</p>
<p>中央図書館長 委員</p>	<p>託児事業については、託児を専門にしている業者に依頼している。保育士が2名体制で託児にあたり、0歳児だと一人の保育士で2名まで、1歳児以上は一人あたり3名までというガイドラインで実施している。実際の利用は、1、2歳児が多い。</p> <p>戸田市にも子育てボランティアがいる。社会福祉協議会で養成講座を開催し、託児のできる方に登録してもらっているのではないかと。そういう方と連携して、地域のボランティアに活躍の場を提供することも考えてみてはどうか。また、預かっている乳幼児に絵本の読み聞かせはしているのか。埼玉県の子育てアドバイザーをしていたとき、託児の際は絵本を読んでいた経験があるので、図書館でも取り入れてはどうかと思う。</p>
<p>中央図書館長 委員</p>	<p>託児の際は、おもちゃの他に絵本も用意してある。必要に応じて絵本も読んでいるが、どれくらいの頻度で読み聞かせているか確認し、頻度を増やすよう伝える。</p> <p>可能なら、読んだ本について、報告に反映できるよう冊数なども把握してほしい。</p>
<p>中央図書館長 委員</p>	<p>託児ボランティアについては、認識不足で把握していなかったの、情報収集する。</p> <p>現在も実施しているか、私も把握していないが、できたら地域の人たちが活躍できるよう、そういう機会を提供してほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>図書館の中での託児なので、ただ預かるだけでなく、それをき</p>

	<p>かけにして、乳幼児と本とをつなぐ取組みとなるよう検討してほしい。</p>
委員	<p>埼玉県では、LGBT教育を推進している。図書館でも、ぜひ、LGBTについて、もう少し発信する取組みを入れてほしい。</p>
委員	<p>私は社会福祉協議会から来ている。戸田市の託児ボランティアについて説明すると、現在も託児ボランティアの依頼は受けている。市役所で託児サービス付きの講座を行う際は依頼してもらっている。何人か登録している人がいるので、依頼を受けてから対応できる人がいれば、受けることができる。その代わり、保育士のような専門の資格を持っている人はいない。</p>
会長	<p>託児について、市民の方の協力を得ることができるのなら、ぜひ、前向きに検討してもらいたい。</p> <p>下半期の活動報告を見ていると、他の機関との連携や、市民や利用者との対話を重視して活動している印象がある。</p> <p>私の方から、1点、指摘したいことがある。様々な活動をしている状況については、報告でよく理解できた。一方で、図書館として貸出冊数などの利用状況については簡単な数値の報告しかなく、もう少し詳しい報告がほしい。</p> <p>例えば、図書館にストックされている蔵書冊数の増減についても知りたい。それには、今年度、何冊の児童書・一般書を購入して、何冊、除籍したのかの報告があるとよい。</p> <p>貸出冊数についても、一概に貸出冊数だけでは評価できないが、資料種別ごとに児童書は何冊貸出されたかとか、視聴覚資料は何点貸出があったなど、図書館の評価指数を出す際には、今よりももう少し細かな数字があるとよい。</p> <p>今言った数値については、要覧の統計には掲載されているが、折角、図書館の利用状況について、こうして報告する場があるのだから</p>

<p>会長</p> <p>中央図書館長</p>	<p>ら、同様の統計数値を提示してほしい。</p> <p>また、埼玉県図書館協会が出している令和3年度の数値では、埼玉県内における戸田市の図書購入費は平均値近くだが、人口一人当たりの購入費は平均値よりも下位の方になってしまう。蔵書冊数も県内平均だが、人口一人当たりの蔵書冊数となると2.84冊、県内平均は3.22冊なので、平均値より少ないことがわかる。</p> <p>このような蔵書数や貸出数と、人口との割合など図書館のベースとなる経営的な評価指標も出してほしい。</p> <p>因みに、蔵書冊数に対して、貸出冊数がどれくらいあるのかを知るために蔵書回転率（蔵書1冊あたりの貸出回数）を計算してみたところ、戸田市の図書館全体で貸出冊数が約57万冊なのに対して蔵書冊数が約40万冊なので、単純計算で約1.42となる。これを県内他市の図書館と比較すると、新座市は約1.72、富士見市は約1.51となる。これだけ見ると、戸田市は他市に比べて、全体の蔵書冊数1冊あたりの貸出回数が少ないという評価となる。</p> <p>但し、分館ごとに見てみると、中央図書館は閉架や貸出できない郷土資料が大変多いので、一概に比較はできないが、約0.96という数値になり、一方で上戸田分館は約2.9もの回転率があった。</p> <p>例えばこうした回転率を分館ごとに出すことで利用の頻度を測ることができる。今後は、こういった指標をもとにコレクションの構築計画をできたらよいのではと思う。</p> <p>では、続いて議事の（3）令和5年度図書館事業計画について説明をお願いします。</p> <p>資料6「令和5年度図書館事業計画」に沿ってポイントのみ説明する。</p> <p>ブックスタート事業について、コロナウイルス感染症の拡大によ</p>
-------------------------	---

<p>上戸田分館</p>	<p>り中止していた一対一での読み聞かせを、福祉保健センターの方とも話をして、徐々に再開していくことにした。</p> <p>児童サービスでは40周年記念行事で絵本作家のワークショップ、トークショーを開催するのを目玉に様々なイベントを実施していく。</p> <p>学校図書館との連携では、学校図書館との対話から生まれた新たな取組にもチャレンジしていく。</p> <p>一般向けでは、新たに16mmを活用して上映会を開催する。</p> <p>バリアフリーサービスでは、「サピエ」への加入を予定している。視覚障害者に幅広い資料の提供が可能になる。</p> <p>多文化サービスについては、英語の読み聞かせを計画している。</p> <p>デジタル対応については、活用の更なる充実を目指す。</p> <p>施設サービスでは、原画展や玄関ホールイベントを企画している。静かな図書館でどこまでできるかわからないが、人々の憩いの場となるようチャレンジを続けていく。</p> <p>県立図書館との取り組みとして、今年度は埼玉県の図書館まつり（「図書館と県民のつどい埼玉」）に参加させてもらった。県立図書館が主催する研修へも積極的に参加するなどして、来年度も県立図書館とのパイプを太くし、ノウハウを学ばせてもらう。</p> <p>5ページ、おはなし会については、来年度も引き続き実施する。6ページの大人向け健康講座は、今年度、福祉保健センターの方に来てもらい行った講演を、来年度も実施してもらう。</p> <p>企画資料展示での新規事業としては、防災情報展示とあるが、現在も館内で情報発信は行っている。今後も防災専門図書館等専門機関と連携して、情報の収集と発信を行っていく。</p> <p>7ページの認知症展示についても、今年度より地域包括支援センターとの連携事業として実施しているもので、市内全体で認知症を</p>
--------------	--

	<p>啓発していくという動きにあわせて必要な情報を収集し、展示を通して発信していく。</p> <p>その他の事業についても、上戸田地域交流センターの職員と連携して実施していく。</p>
会長 委員	<p>次年度の事業計画について、意見、質問等あればお願いします。</p> <p>ブックスタートで渡している絵本は、以前は同じ本を皆さんに差し上げていたが、今も変わらないのか。</p>
中央図書館長	<p>絵本は毎年、変えているが、同じ年の乳児には同じ本を渡している。但し、既に持っている人もいるので、その場合は、過去に配布した本の中から別の本を選んでもらい渡している。</p>
委員	<p>戸田市は子供の数が多いので、一人ずつ違う本をあげても、ママ同士の交流で、交換して読んだりできるのではないか。本は、こちらが良いと思って渡しても、人により好みもある。親が「読みづらい」と感じる本をあげるのはどうかと思う。選べるような仕組みがあったら良いと思う。検討してもらいたい。</p>
中央図書館長 会長	<p>事務局と相談する。</p> <p>ブックスタートの選書については、他の自治体の状況なども調査して、研究してもらいたい。</p>
中央図書館長	<p>因みに、戸田市では年間1,100人から1,200人の親子に絵本を配布している。</p>
委員	<p>多くの事業がある中で、新規の事業も計画に載っているが、なくした事業はあるのか。というのも、新規の事業が増えることで、スタッフの手が足りなくなり一つ一つの事業に対するサービスの低下に繋がらないかが懸念される。どの事業も丁寧に取組んでほしいので、新規の事業を取り入れるのであれば、なくす事業があっても良いのではないか。</p>
中央図書館長	<p>確かに募集しても思うような反響のない講座があるのは事実なの</p>

上戸田分館長	<p>で、今の言葉に甘えるわけではないが、今後は取捨選択していく。</p> <p>上戸田分館では、昨年度、毎週火曜日に開催していたおはなし会の参加者がコロナ感染症の影響で減少していたため、今年度は回数を減らす代わりに、おはなしバスケットを導入した。そのため、スタッフの手が回らないということは生じていない。</p>
会長	<p>図書館の運営については、限られた人数と予算の中で行わなければならない。質の高いサービスを提供していくには、量よりも質を重視する必要がある、スタッフの負担を考慮することは大切である。</p>
委員	<p>私立の中学校でおはなし会をしたとき、十五夜の話をしたら、知らない生徒がいた。ハロウィンやクリスマスもいいが、日本の行事に合わせたイベントや読み聞かせがあっても良い。図書館の本で調べるコンクールで優秀賞を受賞した児童の作品中にある参考文献を見たら、行事に関する子供の本がたくさんあった。そういった本を利用して読み聞かせができるのではないかな。</p> <p>また、昔話も積極的に読み聞かせてほしい。どこかの学校の受験問題で、桃太郎について問う問題があったが、現在の子供ほど正解率が低下しているという話を聞いた。</p> <p>日本の行事については、大人が知らない情報もある。読み聞かせの前後に、月見の行事は平安時代からあるとか、源氏物語にも出てくるとか、そういった話を添えるなどして、もっと本を借りて知りたいと思うような仕掛けを提供すれば良い。そういうことの積み重ねが図書館の本を利活用する方向へ繋がるのではないかな。</p>
中央図書館長	<p>おはなしの部屋で実施するストーリーテリングには昔話を入れている。出前講座のブックトークでも昔話を入れている。日本の季節の行事についての取組みについては、今後、取り組んでいきたい。</p>
会長	<p>私から1点、指摘したいことがある。子供の読書推進を進めていく上で、学校図書館の位置づけが重要となる。戸田市では「本好き</p>

委員	<p>サポーター」が配置されているが、フルタイムの学校司書を配置できるようにしてもらいたい。今後は公共図書館だけでなく、学校図書館の充実についても検討し、ビジョンを実現してほしい。</p> <p>また、図書館を使った調べる学習コンクールについて、次年度は、ぜひ、図書館スタッフの取り組みを作成して応募してほしい。</p> <p>男女共同参画やLGBTについて、上戸田分館では素敵な展示をしているが、中央図書館では何か取り組んでいるのか知りたい。</p>
中央図書館長 委員	<p>まだしていない。</p> <p>中央図書館も展示をお願いしたい。特に児童書で案内できるものがあったら展示してほしい。私は男女共同参画推進委員なので、ぜひ、お願いしたい。</p>
中央図書館長 上戸田分館長	<p>上戸田分館の取組みを参考にして検討したい。</p> <p>あいパルは男女共同推進の拠点と定められているため、展示を行っている。中央図書館との連携については不十分な点があったので、今後は連携して、より充実した展示をしていく。</p>
会長	<p>図書館には多様な資料がある。まさに図書館は、考える材料を提供してくれる場所で、人類の様々な知識や知見が保存されているところであり、私たちに謙虚にさせてくれる。図書館は、これらのコレクションに付加価値をつけて市民のみなさんに提供していく工夫をしてほしい。</p>
事務局	<p>次に（４）その他については、事務局より説明をお願いします。</p> <p>本日の図書館協議会の結果については、議事録を作成し、ホームページで公開する。</p>
会長	<p>事務局の説明について意見や質問はあるか。</p>

事務局	<p>図書館のホームページについて、システムのリプレイスと併せて今のトップページをもう少し魅力あるページに更新できればと感じている。</p> <p>本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局にお返しする。</p> <p>以上で令和4年度第2回図書館運営協議会を閉会とする。</p> <p>議事終了</p> <p>閉会 午前11時50分</p>
-----	--